

歩こうかい 4 月例会(通算 372 回)



三英傑ゆかりの地を訪ねる③



小牧山城桜並木と歴史探勝

2022 年 4 月 6 日(水)

天気:晴れ ・参加者 13 名 <11,000 歩>

名鉄小牧駅・・・ 小牧市観光協会ガイド案内 (戒蔵院・西源寺・西林寺・玉林寺・小牧山史跡公園

れきしるこまき・小牧市歴史館)・・・間々観音・・・岸田家(脇本陣)・・・名鉄小牧駅

今回は、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康ゆかりの小牧山城と城下を巡るコース。朝から青空が広がり、桜は散り始めたころで絶好のウォーキング日和となった。

名鉄小牧駅に 9 時 30 分集合。BOB 会員の久保さんにも参加いただき、小牧市観光協会の名ガイド・鶴飼さんのユニークな口調に笑い声と共に出発。再開発が進む駅前に残る古い長屋には、今も火避けの屋根神様が祀られ歴史を感じさせてくれる。小牧山に続く約 1.2Km の道は「信長公 夢・チャレンジ街道」と名付けられ、信長の誕生から小牧山に城を築くまでの出来事やエピソードのイラストが歩道に描かれていて、しばらく歩くと戒蔵院に着く。本尊の木造十一面観音菩薩立像は市指定有形文化財。山門前には * 上街道(うわかいどう)の道標があり、「南 名古屋」「西 一の宮 つしま」「東 木曾街道 犬山道」と刻まれている

* 上街道＝江戸時代に中山道と名古屋城下を結んだ脇往還(街道)。木曾街道



戒蔵院



道標の説明をするガイドさん

西源寺を経て道を渡ると西林寺に着く。境内に小牧出身の陸軍大将・渡辺錠太郎の像があり、説明を聞きながら戦争の怖さを新たに知る。すぐ隣の玉林寺の本堂には天井に龍の絵が描かれている。



玉林寺本堂・龍の天井絵



玉林寺本堂でガイドさんの説明を聞く

信長が小牧山城と城下町を守るために造営したといわれる小牧神明社を経て、花桃を眺めながら史跡公園へ



桜満開の小牧神明社



街道に咲く花桃

小牧山は平成 10 年以降、当時の土塁や石垣が数多く発掘され、今も復元工事が行われている。れきしるこまき(小牧山城史跡情報館)の館内を見学後、小牧山頂上の城の形をした歴史館をバックに記念撮影。歴史館の展望階から濃尾平野を眺め、信長の天下統一の夢・チャレンジに思いを馳せる。

ガイドさんと別れ、珍しいおちちのお寺・間々観音を参拝し、史跡公園まで戻って桜吹雪の下で昼食を楽しむ。来た道を道標まで戻り、上街道を歩いて脇本陣としての機能も果たした岸田家を見た後、駅近くのフードコートで休憩し14時30分頃解散する。



桜を眺めながら山頂へ



昔の道を説明するガイドさん



歴史館をバックに記念撮影



桜吹雪の下で昼食



おっばいが付いている
間々観音の線香立て



屋根神様のある岸田家



岸田家前の立札

記: 奥村正忠